

資料渉猟余話

その46

過日、柳原白蓮を郷土に招いた故塚平義郎氏のご子息、塚平正広氏をお訪ねした。そこで、白蓮自筆の短冊や色紙をはじめ、故人が遺した関係資料を拝見した。その中に、柳原白蓮と高木邦子の飯田下伊那滞在中の動向を示す下記日程表（昭和二十八・六・一作成）があった。

六十年の歳月を経ているが、紙はすっかり変色しているが、講演会場や主催者（後援者）、及び宿泊場所等が記され

が龍丘、七日が龍江、八日が平岡という順で行われたことになる。また時間は、いずれも講演が午後一時あるいは一時半から五時までである。引き続き、座談会や席上揮毫が行われたようだ。従って、

柳原白蓮と飯田下伊那 補遺

鎌倉 貞男

今まで書いてきた、飯田病院や猿庫の泉を訪ねたのは、その日の午前中ということになる。主催はいずれもそれ

四〇五日が飯田、六日



南宮峽の白蓮（前列右から三人目）

水底に沈みし村は 春秋のやまかげうす南宮の峽 (南宮峽)
やまの辺に雨雲深し 竜丘の里には降らぬ水にこりせり (竜丘)
なげくまじ 泣かじ とするは天龍の川がをしふる人の運命や (天龍峽)
天龍のこころは平岡夕ムを過ぎて ところ 中 (平岡)

ともあれ、流転の著名歌人白蓮の来峽は、当地においては特筆すべきことと言えよう。

月日(曜)	会場(時間略)	主催者	摘要
七・八(水)	平岡公民館	平岡村 同公民館 阿南地区婦人会 地元新聞社	平岡 満島ホテル
七・一(木)	南宮公民館	大下奈村・泰阜村 同公民館 同婦人会 地元新聞社	南宮峽 聚楽荘
七・三(金)	千代公民館	千代村 同公民館 同婦人会 地元新聞社	千代村 千代節蔵氏宅
七・四(土)	風越高校講堂	飯田市 同公民館 同婦人会 同福祉事務所	飯田市 久井旅館
七・五(日)		同	久井旅館
七・六(月)	竜丘公民館	竜丘村 同公民館 同婦人会	竜丘村 林省三氏宅
七・七(火)	龍江公民館	龍江村 同公民館 同婦人会	龍江村 木下省三氏宅
七・二(水)	龍峽会館	川路村・三穂村 同公民館 同婦人会 地元新聞社	天龍峽

柳原白蓮先生・高木邦子夫人講演日程表昭和二六・一作成